

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

えりも町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道幌泉郡えりも町

### 3 地域再生計画の区域

北海道幌泉郡えりも町の全域

### 4 地域再生計画の目標

えりも町は、江戸時代に松前藩の昆布場所として、日高管内でも早くに開かれた地であり、漁業を生業として先人が幾多の困難を克服しながら現在に至っています。

この間、森進一の曲のヒットにより襟裳岬を訪れる観光客の増加や港湾、漁港の整備等、インフラの充実と栽培漁業の推進が図られました。

太平洋に大きく突き出た襟裳岬は、風極の地と称されるほどの強風地帯ですが、厳しい自然環境ゆえに、人々が息を飲むような景勝が創り出され、岬の沖合には世界有数の漁場を擁し、えりも町は「漁業と観光のまち」として発展してきました。

一方、町内の人口は昭和 30 年の 9,267 人から減少し、昭和 50 年に微増となったものの、減少傾向に歯止めがかからず、平成 27 年には 4,906 人とピーク時から約半数となっています。住民基本台帳によると令和 3 年 7 月には 4,470 人となっています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2065 年には 1,203 人になることが見込まれています。

年齢 3 区分別の人口推移をみると、昭和 40 年から令和 2 年にかけて、年少人口は 2,789 人から 540 人、生産年齢人口は 5,351 人から 2,491 人と減少傾向にある一方、老年人口は 479 人から 1,499 人と増加傾向にあり、平成 12 年以降、年少人口を上回って推移しています。

自然動態をみると、平成 7 年までは出生数が死亡数を上回っていたため「自然増」の状態が続いていましたが、その後出生数と死亡数が均衡し、平成 16 年度以降は死亡数が出生数を上回る「自然減」の状況になっています。令和元年には出生数 20 人、死亡数 55 人と▲35 人の自然減となっています。

社会動態をみると、昭和 35 年から令和元年まで、すべての年において、転出数が転入数を上回る「社会減」の状態が続いており、令和元年には転出数 202 人、転入数 130 人と▲72 人の社会減となっています。

過疎化が進行する中であって、本町の合計特殊出生率は平成 25 年～平成 29 年には 1.75 と、道内トップの水準にあります。この要因の一つとして「漁業を中心とした産業基盤の安定」が挙げられています。産業の安定は、豊かな海と大地の恵みによるもので、まちづくりにおける本町の誇れる優位性となっていました。

しかし、近年は、その漁業において、地球温暖化が進む中、海洋環境の変化も著しいことの影響か、秋サケ漁の不漁が続くなど予断を許さない状況となってきました。

上記のとおり、本町の人口減少は進行しており、この状況を放置すると、就業者数の著しい減少による生産・消費の減少や、高齢者人口割合の増加による医療・介護費負担の増大、地域公共交通の縮小など、町民生活のさまざまな場面に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

今後、本町が持続可能なまちづくりを進めていくためには、人口減少への対策に取り組むとともに、海と大地がもたらす豊富な資源を維持・活用しながら、その営みを引き継ぐ人材を育てるとともに、新たに関係人口を増やしていく必要があります。

このことから目指すべき姿を「輝く海と大地を次世代へつなげるまちづくり」とし、次の 4 つの目標を設定し施策を展開します。

- 基本目標 1 まちに安定した雇用をつくる
- 基本目標 2 まちに新たな人の流れをつくる
- 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標 4 安心・安全で、住み続けたい魅力的なまちをつくる

### 【数値目標】

5-2 の①に 掲げる 事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024 年度)	達成に寄 与する地 方版総合 戦略の基 本目標
ア	新規創業者数	0 件	3 件	基本目標 1
ア	就業人口	2,800 人	2,800 人	基本目標 1
イ	観光客宿泊数	13,300 人	20,000 人	基本目標 2
イ	外国人宿泊数	20 人	300 人	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	1.75 人	1.90 人	基本目標 3
エ	社会減の縮小	▲72 人	▲30 人	基本目標 4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

えりも町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア まちに安定した雇用をつくる事業

イ まちに新たな人の流れをつくる事業

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 安心・安全で、住み続けたい魅力的なまちをつくる事業

#### ② 事業内容

ア まちに安定した雇用をつくる事業

基幹となる一次産業について、持続可能な資源の維持、増大対策を図るとともに、高付加価値化や新たな担い手の確保や新規就業者の支援する事業。

##### 【具体的な施策】

- ・水産業の振興
- ・農業の振興
- ・林業の振興と豊かな森づくり、緑化事業の継承 等

イ まちに新たな人の流れをつくる事業

地域の特性を活かした観光の振興や新たな「えりもファン」を増やす関係人口の創出・拡大を図る事業。

##### 【具体的な施策】

- ・自然、文化、歴史、産業を活かした観光の振興
- ・お試し移住体験やワーケーションの取り組み 等

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

町の将来を担う若い世代が、町内で結婚し、子どもを産み育てることが出来る環境を創る事業。

##### 【具体的な施策】

- ・子育て世代への経済的、精神的負担を軽減する支援事業
- ・えりもの子はえりもで育てる環境を整える事業 等

## エ 安心・安全で、住み続けたい魅力的なまちをつくる事業

町民が「ずっと住み続けたい、えりも町」をつくるための事業。

### 【具体的な施策】

- ・地域医療や福祉環境の充実を図る事業
- ・地域防災力向上事業
- ・地域インフラの整備や地域の足の確保する事業 等

※ なお、詳細は第2期えりも町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））  
4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額目安  
900,000 千円（2021 年度～2024 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）  
毎年11月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する。検証後速やかにえりも町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間  
地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

## 6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで